

補助金チェックシート(既存)

作成年度:令和4年度

1. 補助金の内容

補助金名称	枚方市奨学金			補助金番号	11-1	
所管部署	学校教育部 教育支援室 学校支援課					
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市奨学金条例					
交付の目的	経済的な理由のため学校教育法に規定される高等学校等に修学が困難な者に奨学金を支給することにより、教育の機会均等を図ることを目的とする。					
補助対象経費	修学に必要な費用					
補助率・補助額	定額補助					
交付先	個人					
開始年度	昭和39 年度	終期年度	年度	サンセット期日	令和7 年度末	
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助		事業費補助	その他	○
法令等での義務付け	なし	法令等名称				

2. 補助金の予算・決算等

		(千円)			
		H31(R1)	R2	R3	R4
予算額		16,320	15,300	14,682	14,628
決算額		16,257	14,157	14,602	/
特定財源	国庫支出金	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
一般財源		16,257	14,157	14,602	
		(件)			
交付実績		249	217	223	

3. 補助金の見直し

①補助金交付の基本的な視点(いずれかが不適合の場合は「廃止」もしくは「改善」)

視点	チェックポイント	チェック	理由・詳細等 (不適合の場合は対応案・改善策を記入)
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓	経済的な理由のため高等学校等に修学が困難な者に奨学金を支給することで、教育の機会均等を図ることは、広く市民の利益に貢献する。
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓	第5次枚方市総合計画にある「子どもたちが健やかに育つことができるまち」の達成に必要な不可欠である。
	現在の社会経済情勢においてニーズが高い又は高いニーズが見込まれる。(ニーズを把握している)	✓	高校生等への奨学金については、電話での問い合わせも多く、進路支援相談においても多数の保護者が関心を寄せている。
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。(具体的な効果測定方法が確保されている)	✓	毎年、多数の申請があり、受給者の在籍照会も行っている。
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓	経済的な負担の軽減を図ることを目的としているため、委託や直接執行にはなじまない。
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓	予算の範囲内で、要件を満たす高校生等を補助金交付対象としている。

妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓	修学に必要な費用全額は補助していない。
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。(補助金交付要綱の整備など。)	✓	条例に定めている。
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できる。(ホームページでの補助制度の公表など)	✓	市の広報やホームページ、SNS(ライン、フェイスブック、ツイッター)等により公表されている。

②補助金性質分類別の視点

[その他]

該当	チェックポイント	チェック	理由・詳細等 (不適合の場合は対応案・改善策を記入)
○	他の類似制度と重複が無いか確認した。	✓	大阪府が実施している「国公立、私立高等学校等奨学のための給付金」は本市とは支給要件が異なる。

4. 補助金の今後の方向性

方向性	現状のまま継続
上記方向性を 選択した理由	公益性、必要性、有効性、公平性、妥当性が認められるため、補助制度を継続する。また、引き続き、補助制度について、ホームページ、SNS(ライン、フェイスブック、ツイッター)等により公表を行っていく。
対応完了・廃止予定時期	

補助金チェックシート(既存)

作成年度:令和4年度

1. 補助金の内容

補助金名称	枚方市交通災害遺児奨学金			補助金番号	11-2	
所管部署	学校教育部 教育支援室 学校支援課					
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市交通災害遺児奨学金条例					
交付の目的	交通事故により保護者を失った交通災害遺児に対し奨学金を給付することにより、交通災害遺児の健やかな育成と福祉の増進を図ることを目的とする。					
補助対象経費	学用品費、教材費					
補助率・補助額	定額補助					
交付先	個人					
開始年度	昭和45 年度	終期年度	年度	サンセット期日	令和7 年度末	
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助		事業費補助	その他	○
法令等での義務付け	なし	法令等名称				

2. 補助金の予算・決算等

(千円)				
	H31(R1)	R2	R3	R4
予算額	900	900	900	330
決算額	780	840	480	/
特定財源	国庫支出金	0	0	
	府支出金	0	0	
	その他	0	0	
一般財源	780	840	480	
(件)				
交付実績	13	14	8	

3. 補助金の見直し

①補助金交付の基本的な視点(いずれかが不適合の場合は「廃止」もしくは「改善」)

視点	チェックポイント	チェック	理由・詳細等 (不適合の場合は対応案・改善策を記入)
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓	交通事故により保護者を失った交通災害遺児は、誰もがなりうることから、広く市民の利益に貢献するものである。
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓	第5次枚方市総合計画にある「子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち」の達成に必要な不可欠である。
	現在の社会経済情勢においてニーズが高い又は高いニーズが見込まれる。(ニーズを把握している)	✓	毎年、対象となる児童生徒から申請を受けている。
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。(具体的な効果測定方法が確保されている)	✓	交通災害遺児の就学状況を学校に確認している。
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓	交通災害遺児の健やかな育成と福祉の増進を図ることを目的としていることから、補助金交付が業務委託や直接執行と比較し、より適正で効果的な手法である。
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓	要件に該当する交通災害遺児を補助金交付対象としている。

妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓	交通事故により保護者を失った交通災害遺児に奨学金を支給することで、健やかな育成と福祉の増進に寄与している。
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。(補助金交付要綱の整備など。)	✓	同様の制度により補助を行っている自治体を、照会等により把握しており、補助率、補助金額、補助対象経費等を条例に定めている。
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できる。(ホームページでの補助制度の公表など)	✓	市の広報やホームページ等により公表されている。

②補助金性質分類別の視点

[その他]

該当	チェックポイント	チェック	理由・詳細等 (不適合の場合は対応案・改善策を記入)
○	他の類似制度と重複が無いか確認した。	✓	あしなが育英会や交通遺児育英会は高校・大学を対象としており、なおかつ貸付制度である。

4. 補助金の今後の方向性

方向性	現状のまま継続
上記方向性を 選択した理由	今後も交通災害遺児の健やかな育成と福祉の増進を図るために、引き続き実施する。
対応完了・廃止予定時期	